

# 安田川水系 流域治水プロジェクト【位置図】

高知県

～鮎を育む清流 安田川の流域治水～

安田川水系については、年超過確率1/30の規模の洪水が発生しても安全に流せる対策を進めるとともに、流域における砂防関係施設の整備や避難のためのソフト対策に取り組み、浸水被害の軽減を図る。

## ■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河川整備の推進
- ・適切な河川等の維持管理
- ・森林の保全・整備
- ・農地の保全・整備
- ・砂防関係施設の整備
- ・流木対策の推進 等

■事業規模  
河川対策 (約5億円)

## ■被害対象を減少させるための対策

- ・土地利用の検討 等

## ■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供
- ・避難の判断に必要な情報の提供
- ・各種浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表
- ・各種ハザードマップの作成、公表、周知
- ・安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）
- ・発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保） 等



平成26年8月台風11号  
正弘橋

※関係者で連携して、詳細な内容や新たな対策を検討する。



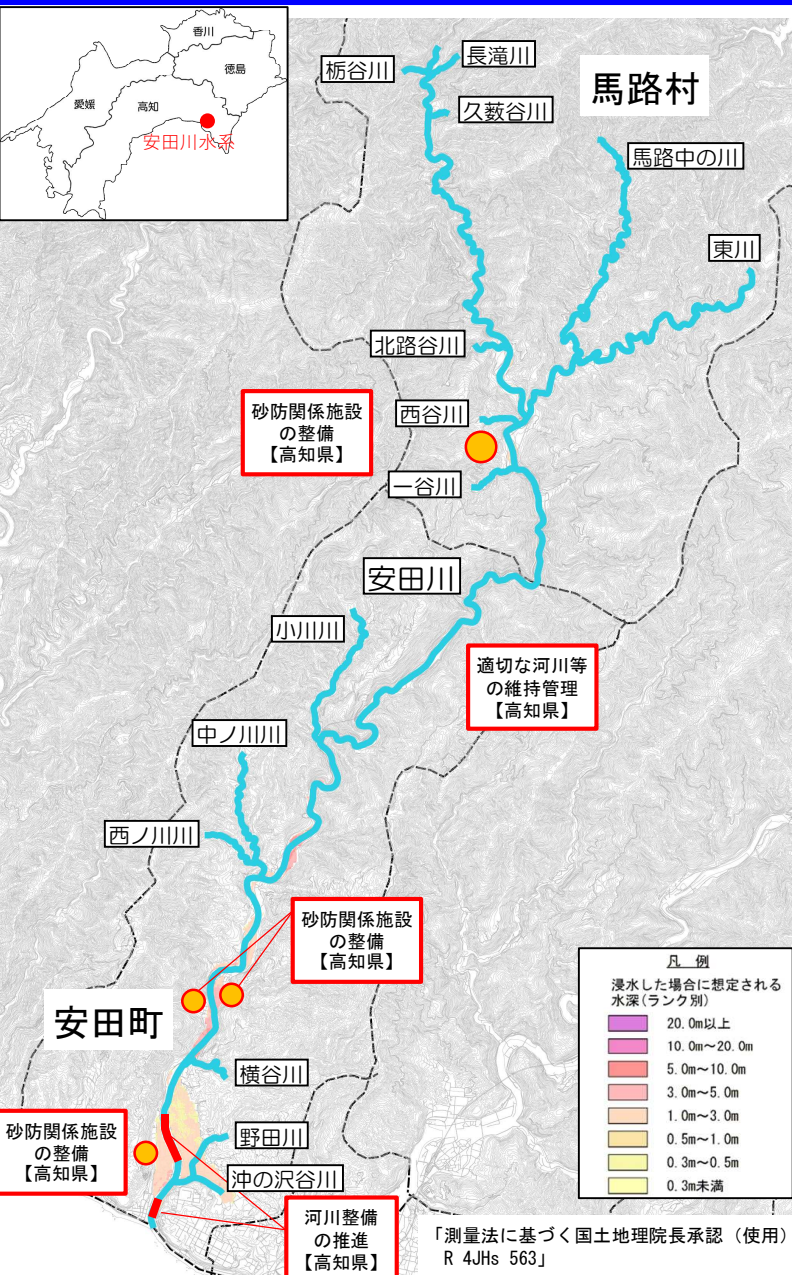
<河川改修>  
高知県



<ハザードマップ>  
安田町



<水位情報の提供>  
高知県



砂防関係施設の整備  
【高知県】

適切な河川等の維持管理  
【高知県】

砂防関係施設の整備  
【高知県】

砂防関係施設の整備  
【高知県】

河川整備の推進  
【高知県】

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

20.0m以上
10.0m～20.0m
5.0m～10.0m
3.0m～5.0m
1.0m～3.0m
0.5m～1.0m
0.3m～0.5m
0.3m未満

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）  
R 4JHs 563」



●安田川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、流域町村、その他流域関係者が連携・協働し、以下の手順で「流域治水」を推進する。  
 【短期】災害の発生を未然に防ぐため、河川改修を行う。  
 【中長期】更なる治水安全度の向上を図るため、引き続き河川改修を行い、整備済の施設について、出水時に機能を十分に発揮できるように維持管理を行う。あわせて逃げ遅れゼロを目指し、ハザードマップによる危険箇所の周知、危機管理型水位計及び河川監視カメラの設置等、的確な避難行動につながるソフト対策の充実を図る。

区分	対策内容	実施主体	水系名	工程	
				短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川整備の推進	高知県	安田川	河川改修の検討	
	適切な河川等の維持管理	高知県	安田川	土砂・立木の浚渫・除草、河川巡視、モニタリング	
	森林の保全・整備	四国森林管理局、森林整備センター、高知県、安田町、馬路村、流域関係者	安田川	森林整備、治山事業 森林の保全活動	
	農地の保全・整備	高知県、安田町、馬路村、流域関係者	安田川	農地整備・多面的機能支払交付金	
	砂防関係施設の整備	高知県	安田川	砂防関係施設の整備	
	流木対策の推進	四国森林管理局、高知県、流域関係者	安田川	流木対策の推進	
被害対象を減少させるための対策	土地利用の検討	高知県、安田町、馬路村	安田川	土地利用の検討 等	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・カメラの設置、水位情報及び土砂災害警戒情報等の提供	高知県	安田川	ICTを活用した洪水情報の提供整備（水位・河川監視）	
	避難の判断に必要な情報の提供	高知県	安田川	ICTを活用した避難情報の提供整備（防災アプリ）	
	各種浸水想定区域、土砂災害警戒区域の指定・公表	高知県	安田川	浸水想定図、土砂災害警戒区域の指定・公表	
	各種ハザードマップの作成、公表、周知	安田町、馬路村	安田川	ハザードマップの改良、周知	避難訓練の実施
	安全な避難のための取組・防災教育（要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進、防災教育・避難訓練の実施）	高知県、安田町、馬路村、流域関係者 高知県、安田町、馬路村、流域関係者	安田川 安田川	要配慮者利用施設の避難確保計画作成支援 防災学習及び避難訓練による意識啓発	
	発災時の応急措置及び発災後の早期復旧のための取組（防災拠点と緊急輸送ルートの確保）	国、高知県	安田川	防災拠点と緊急輸送ルートの確保	

■事業規模  
河川対策（約5億円）

気候変動を踏まえた更なる対策を推進